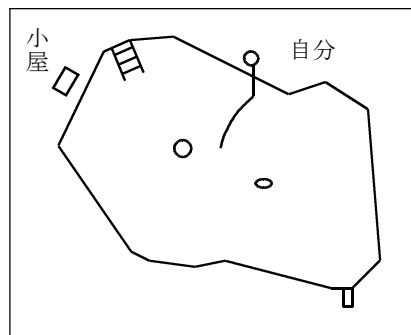


【料金】 半日午後 男性 ¥3,500

【様子】

- 晴れのち曇り、その後、雨。風は時々ふく。途中、水面が少し波打つというときもあった。水は濁っている。
- 金曜日は放流も餌撒きもなし。
- 目標:半日で30尾釣る。



12時20分~2時10分 19尾

- ライズはなく、上から見える範囲でマスの姿が見られない。
- ネットで、「モカDRを巻き続けて当たるところを探る。何巻き目で当たったかを参考にする」とあったことから、モカDR(SS)S.M6を選び、着水と同時に巻き始めた。4巻き目で当たりがあったが掛からず。同じことが2回あった。4巻き目の深さはどれくらいだろうか。その後、やっと1尾ゲットした。
- ・モカDR(SS)S.M6 1尾 着水後すぐにリリーブ 4巻き目でヒット(&ゲット)
- モカSR(SS)ミドピーノで層を刻んだ。カウント10でヒット(&ゲット)。連続ヒットとなった。
- 当たらなくなったので、プチモカSR(SS)ミドピーノを試すことにした。モカSR(SS)でカウント10だったことから、プチモカSR(SS)なら、とりあえず、カウント15で試した。これが良かった。連続ヒットとなった。

2時10分~3時10分 13尾

- 雨が降り出した。やがて、本降りになってきた。28尾だった。あと、2尾釣ったら帰ろう。
- 30尾になった。小降りになり、やがて上がった。32尾だった。

3時10分~4時30分 14尾

- モカSR(SS)ミドピーノ カウント10では釣れなくなった。雨が上がり、層が変わったのだろうか。
- モカSR(SS)ミドピーノ カウント8で釣れるようになった。
- モカSR(SS)ミドピーノでずっと釣れ続く感じはしたが、別のルアーを試すことにした。
- ちびパニクラDR-SS こぶ茶 カウント10で連続ヒットとなった。
- ピコチャタクラDR-SSSミドピーノ カウント8で連続ヒットとなった。

4時30分 納竿

【ヒットルアー】

- |                      |                              |
|----------------------|------------------------------|
| ・モカSR(SS)ミドピーノ       | 20尾以上                        |
| ・モカSR(SS)ミドピーノ風      | 2尾                           |
| ・ピコチャタクラDR-SSS ミドピーノ | 2尾                           |
| ・モカSR(SS)サチオノチャ      | 1尾                           |
| ・モカSR(SS)オラオラオレンジ    | 2尾                           |
| ・モカSR(SS)K.F5        | 4~5尾                         |
| ・プチモカSR(SS)ミドピーノ     | 4~5尾                         |
| ・ちびパニクラDR-SS こぶ茶     | 4~5尾                         |
| ※以上は、すべて同じ釣り方。       |                              |
| ・モカDR(SS)S.M6        | 1尾 着水後すぐにリリーブ 4巻き目でヒット(&ゲット) |

## 【釣り方】 ー釣れたときの再現性を高めるー

### ＜竿とラインの位置関係＞

竿とラインは一直線。竿先を左(または右)に少しふる(ずらす)ことはしない。巻き始めも一直線で、ルアーが手前に来ても一直線。常に一直線。これなら確実に再現できる。

### ＜リトリーブ・スピード＞

○今日のリトリーブ・スピードである。今日は活性が高かったというものの冬場である。超スローのリトリーブ・スピードである。

ア) ゆっくりゆっくり巻く。「ゆっくりゆっくり」とつぶやきながら巻く。

イ) 巻き始めるとラインがピンと張る。巻きを止めるとラインが緩む。緩んだ分だけラインを巻き取るイメージで巻いていく。

ウ) 竿とラインは一直線であるが、若干、竿先を上げると、ラインがたるむ。そのたるみが一定になるように巻く。

エ) 風が吹くとラインがあおられる。ラインがあおられる分を巻く。ラインが風にあおられ、ラインに膨らみが出る。その膨らみが一定になるように巻く。

○表現は異なるが、ア～ウは同じリトリーブ・スピードである。

## 【合わせ】

○合わせは、竿先をさっと下に向ける、または、リールを1/3～1/4くらいグルッと素早く回す。

○これにより魚が乗らなくても、ルアーの泳層が変わらないので、そのままリトリーブを続けられる。竿先を上げて合わせて掛からなければ、ルアーの泳層が上がってしまう。

○竿尻を手前に引く方が素早く合わせられるかもしれない。この場合、ラインブレイクの危険性があるだろうか。この方法も、掛からなくてもルアーの泳層が変わらない。

## 【カウントする間】

○着水後すぐにカウントを始めるが、風が吹くとラインが風にあおられて、ルアーの沈む深さに影響する。これを防ぐために風があるときは、ルアーが着水したらすぐに竿先を下げ、ラインを水面に着けてカウントを行った。

○カウントの途中で当たるときがあった。特にプチモカSR(SS)ミドピーノでは数回あった。沈んでいく途中で当たりがあるときはラインに変化がある。この時はできるだけ素早くリールを巻く。糸がふけているのでリールを巻くことで合わせる。

## 【カウントの数値】

○モカSR(SS)ミドピーノ カウント10で連続ヒット(&ゲット)。当たらなくなったのでルアーチェンジ。プチモカSR(SS)ミドピーノ カウント15で連続ヒット(&ゲット)。以上のことから、モカSR(SS)カウント10とプチモカSR(SS)カウント15は同じ深さと考えられる。

○同様に、モカSR(SS)カウント8、ちびパニクラDR-SSカウント10、ピコチャタクラDR-SSSカウント8で連続ヒットとなった。

モカSR(SS)カウント10 = プチモカSR(SS)カウント15

モカSR(SS)カウント8 = ピコチャタクラDR-SSSカウント8

= ちびパニクラDR-SSカウント10

## 【泳ぎが変わると釣れない】

○モカSR(SS)ミドピーノ カウント10で連続ヒットしていた。モカDR(SS)ミドピーノ カウント10で釣ったが釣れない。DRは巻くと沈んでいくことから、一定層を泳ぐように、竿先は水平やや上、または、目の高さにしてリトリーブした。当たったときもあったような気がするが、1尾もゲットできなかった。泳ぎが変わると釣れないということだろう。

○同じ泳層をリトリーブしても、ルアーの種類によって釣果が変わるということである。

【ロストルアー】

・ジギルjr 0.9g 福田01

前回買ったスプーン。ボトムをリトリブしていたら根掛かり。

※目標が達成できた。活性は高かった。

※スタッフ安藤さん 「気圧が低いと活性が上がる」